

飛 翔



日本将棋連盟 岐阜県支部連合会

日本将棋連盟 岐阜県支部連合会

2021年創刊号



ご挨拶 『飛翔』 発刊に寄せて

日本将棋連盟 岐阜県支部連合会

会長 伊藤 壽

このたび、日本将棋連盟岐阜県支部連合会『飛翔』が活動記録として発刊されることを、皆さまと一緒に喜びたいと思います。

本連合会は、平成7年に発足し、満26年という長い歴史を持っております。これまで活動の記録を形として残しておりませんでした。活動の記録を留めておくことは、今後の展望、指針ともなり、大きな意義があるのではないのでしょうか。

本県では、令和6年度に国民文化祭、全国高等学校将棋選手権大会が開催される予定です。本連合会としてはそれらの文化活動の一翼を担うことが期待されており一層の使命感を持たなければならないと考えております。今後とも皆さまのご協力を宜しくお願い致します。

最後になりましたが、投稿をいただいた皆様や編集の労に当たっていただいた役員の方々に、心から敬意と感謝を表して、私の挨拶と致します。

岐阜県 支部代表者

- 中濃支部 支部長 田川耕史郎 〒501-3905 岐阜県関市神明町 1-6-24 0575-22-8695
- 飛騨支部 支部長 鷹野成司 〒506-0004 岐阜県高山市桐生町 1-212 0577-33-3481
- 岐阜棋友会支部 支部長 富田國夫 〒503-0023 岐阜県大垣市笠木町 563-6 0584-92-1312
- 岐阜将棋愛好会支部 支部長 速水基希 〒500-8281 岐阜県岐阜市東鶉 5-19-1 090-2572-3798
- 岐阜県中央支部 支部長 柴山芳之 〒504-0833 岐阜県各務原市入会町 4-6-2 058-383-6921
- 高山将棋教室支部 支部長 浅井泉 〒506-0012 岐阜県高山市八軒町 2-64 0577-32-0450
- 岐阜棋友会西濃支部 代表者 笹井義隆 〒503-2416 岐阜県揖斐郡池田町萩原 942-1 0585-45-1939
- 可児支部 支部長 牧野清四郎 〒509-0236 岐阜県可児市皷ヶ丘 5-52 0574-64-3397
- 大垣支部 支部長 大橋誠治 〒503-0947 岐阜県大垣町浅草 4-33-1 0584-89-8989
- 西濃ジュニア支部 支部長 林晃弘 〒503-2327 岐阜県安八郡神戸町和泉 802 0584-27-4091

編集後記

山口姉妹が岐阜県初の女流プロデビューをし、昨年4月1日付で、岐阜県在住プロ棋士の高田四段が誕生したことは、岐阜県の将棋界にとって、大変大きな流れを生み出しました。時期を同じくして、岐阜県支部連合会の創刊号「飛翔」が発行できることは、大変意義深いことだと思います。

岐阜県支部連合会の設立目的・事業の中で、「(支部会員相互の) 棋力向上を図る」「将棋の指導・奨励研究にかかる諸活動」を行うとあります。藤井四冠が竜王位奪取の竜王戦第4局終了後の記者会見で、「これまでと変わらず、強くなることを目標に据えて、取り組んでいければ。」と述べていましたが、このことは将棋を指す人すべての人の原点ではないかと思えます。岐阜県支部連合会の活動も、これをひとつの大きな柱として取り組むことが必要でしょうし、この創刊号「飛翔」の発行がそこへつながることを目指したいものです。

昨年コロナ禍により中止になった「全国健康福祉祭(ねんりんピック岐阜大会)」ですが、岐阜県は2025年に再度誘致を目指すとして発表しました。この創刊号「飛翔」の発行が「ねんりんピック岐阜大会」にもつながり、岐阜県支部連合会の活動をより充実させる一助になれば幸いです。

創刊号「飛翔」の発行に当たっては、編集委員の方々に多大なご協力をいただきました。執筆を引き受けて下さった方々に深く感謝を申し上げます。編集の不十分な点につきましてはご寛容を願い、岐阜県支部連合会の今後の発展の礎となることを念願するものです。

(岐阜棋友会支部 古澤 寛)

編集委員

伊藤 壽 (棋友会)	細谷 純一 (中濃)
柴山 芳之 (中央)	村松 厚廣 (中央)
古澤 寛 (棋友会)	



日本将棋連盟 岐阜県支部連合会 創刊号「飛翔」

発行日	令和4年(2022年) 2月
発行	日本将棋連盟 岐阜県支部連合会
印刷	有限会社 永田印刷

【岐阜県将棋フェスティバル 2021 決勝戦】

S級の優勝決定戦を解説します。

先手の堀田さんは将棋をこよなく愛する好青年で大会の常連でもあり、AIを駆使して研究に余念はありません。職業は弁護士をされており、お忙しい毎日を送られています。後手の櫻井さんは中学3年生。東海研修会ではB2組に所属され、将棋は粘り強い振り飛車党で時間配分がうまく老獪な手を指します。又、今年は名人戦岐阜県代表になり、若手の有望株で非常に楽しみな青年です。



優勝を目指して、お互い火花を散らして対局が始まりました。(☝堀田 VS 櫻井戦)

＜将棋フェスティバル 2021 S級の決勝戦＞ (2021.12.19.)			
(先)堀田暁之(2勝1敗) VS (後)櫻井皓太(3勝0敗)(ハートフルスクウェア)			
五六歩 三四歩	四六歩 九四歩	五五角④ 四六飛	三一飛 八八角成
五八飛 三二飛	四七銀 九五歩	同角 二五銀	⑨同金 六二金
五五歩 四二銀	①九八香 六四歩	同飛 同歩	⑩四七角 七九銀
七六歩 三五歩	九九王 五一銀	⑤三八銀 四四角	六九角⑪ 六八金
六八王 六二王	八八銀 六二銀	四五歩 三三角	同角 同銀成
七八王 七二王	四五歩② 六三銀直	二三飛 五八歩	四七角 二二角
七七角 八二王	五六飛③ 五四歩	⑥二一飛成 六九飛	まで
八八王 七二銀	二六飛 二四歩	⑦六一竜 同銀	72手で、後手の
七八金 三四飛	四六銀 五五歩	七九金打⑧ 五九歩成	櫻井皓太の勝ち
三八銀 五二金左	四四歩 同飛	六九金 同と	

①東大式中飛車左穴熊だ！

②固さでは負けない。ダイヤモンド美濃で迎え撃つ。

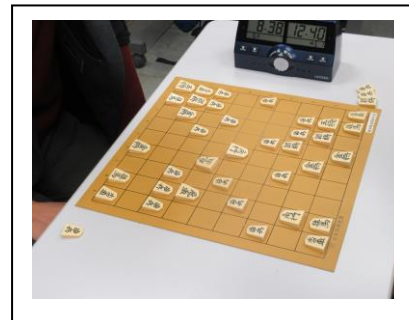
③穴熊が完成しない内に戦いを目指す。▲同歩なら、
△七七角成▲同銀△五四銀が予定。双方自信は無いようだ。

④振り飛車らしい捌き。ただし、形勢は微妙・・・

⑤鍛えの入った手！渋い。

⑥桂得を果たし、形勢は先手良しか・・・

⑦疑問。六八角と角を守りに使い、機を見て六一竜を狙う
のが良かった。



(☝42手目、四六飛の局面)

⑧攻めを繋げる。と金が急所に来たので切れる心配がなくなった。

⑨同玉が良かった。四六角が守りに働いている。

⑩秒読みの中、痛恨の一着。五三桂があった。これならまだ粘る余地があった。

⑪べったりと金を打たれて万事休す。

櫻井さんの固さを生かした食いつきが巧みで見事、4連勝でS級のチャンピオン戦に優勝しました！！おめでとうございます。

「岐阜在住プロ棋士、高田四段誕生！」

四段 高田 明浩

生年月日 2002年6月20日 19歳

出身地 岐阜県各務原市

棋士番号 328 師匠 森信雄七段

経緯 小学3年生から将棋を始める。
2014年第39回小学生名人戦 準優勝
同年9月6級で奨励会合格
2020年2月16日三段
2021年4月1日四段 岐阜県初



得意戦法 以前は右玉、最近は多種に及ぶ。

趣味 読書とけん玉(けん玉棋士と呼ばれる。)

「岐阜県初の女流姉妹棋士誕生！」

女流2級 山口 仁子梨

(鶯谷高校卒業)

- ・2002年9月17日生まれ。小学生の時、祖父に教えられて将棋を始める。
- ・2016年2月、東海研修会へ入会。2018年8月第55回全国高等学校将棋選手権大会女子団体の部準優勝、2019年8月第56回全国高等学校将棋選手権大会女子団体の部優勝のエースとして活躍。2019年10月、岐阜県初の女流2級でプロデビュー(師匠中田章道七段)。正統派の居飛車将棋で受けの棋風。プロの将棋にも慣れ、今後の活躍が期待される。
- ・今年度の成績 8勝10敗 (12月28日現在)



女流1級 山口 稀良莉 (鶯谷高校2年在学)

- ・2005年1月11日生まれ。姉仁子梨と同じく、祖父に教えられて将棋を始める。
- ・2016年11月、東海研修会へ入会。2020年12月、全国5組目の姉妹棋士として女流2級でプロデビュー。(師匠中田章道七段) 2021年9月22日、第33期女流王位戦で北村桂香初段に勝利し女流1級となる。得意戦法は三間飛車で攻めの棋風。女流王位リーグ戦での活躍が期待される。
- ・今年度の成績 6勝8敗(12月28日現在)

令和3年岐阜県支部連合会の大会（1）

1. さなる杯 (R3.02.28)

第46回小学生名人戦岐阜県大会

小学生名人戦は、とても歴史が古く子供たちの憧れの大会です。その中で何人かはプロ棋士になっています。2011年は宮嶋健太君が日本一。

2014年には高田明浩君が準優勝し2021年に四段プロデビューしました。



2. 第50回支部将棋対抗戦 (R3.03.07.)

支部対抗戦は、日本将棋連盟主催のアマチュア支部会員の大会です。

岐阜県には支部が10あり毎年全国大会を目指して精進しています。子供たちの参加も年々増えています。2002年第31回西地区大会個人戦では、篠田正人さんが優勝しています。



3. 第12回岐阜市長杯 (R3.03.28)

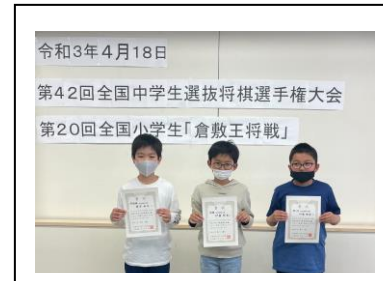
岐阜市長杯は、一般の部でS、A、Bと棋力に応じて県内外問わず誰でも参加できます。

もう一つ小学生戦があり、低、高学年と別れて参加できます。普及指導員の指導対局やプロ棋士による指導対局もあります。毎年近隣市町村から100名を超える人気の大会です。



4. 第20回小学生「倉敷王将戦」(R3.04.18)

小学生「倉敷王将戦」は、毎年岡山県倉敷市で開催され、大山康晴十五世名人記念館があることでも有名です。全国大会の日多くの子供たちが大山記念館を訪れます。大会は高学年と低学年に分かれて行われます。第17回大会では、神野来樹君が低学年の部で3位入賞しています。



5. 第57回高校選手権岐阜県大会 (R3.05.16.)

高校選手権大会は、学生の大会で最も歴史が長く高校生の聖地です。毎年個人戦男女1名ずつ、団体戦男女3名ずつが全国大会に参加します。

2019年55回大会では、鶯谷高校女子団体日本一。2021年57回大会では、鶯谷高校男子団体日本一。燦然と輝く素晴らしい快挙です。



令和3年岐阜県支部連合会の大会（2）

6. アマ名人戦 (R3.06.06.)

全日本アマチュア将棋名人戦は、アマチュア将棋大会では最も歴史ある大会で、令和3年で75回を数え日本中の強豪達が参加します。そのなかで過去には岐阜県代表の遠藤登喜男氏がアマチュア名人に輝いたこともあります。写真は櫻井氏対神野氏の今年の決勝戦の様で両者の集中力と緊迫した雰囲気伝わります。



7. 第1回定期順位戦 (R3.07.18.)

岐阜県では全国大会の岐阜県代表者を定める大会の他に独自の大会を行っており、それが毎年7月から9月に行なわれる定期順位戦です。岐阜県・岐阜市各教育委員会や岐阜新聞等のご協力を得て行われています。S・A・B・C・小学低学年・高学年の6階級で熱戦を繰り広げました。写真は低学年の優勝者及び準優勝者のお二人です。



8. 第2回定期順位戦 (R3.10.03.)

今年はコロナウイルスの感染が岐阜県にも広がり、第2回大会が二度延期になり、また第3回大会は中止になって仕舞いました。検温、手指の消毒、マスク着用、三密の回避など感染症対策をしっかりと大会を行いました。写真は左側の列が小学校高学年の部、右側の列がB級の部の大会の様子です。皆さん集中して読んでいます。



9. ぎふしん杯 第1回こども将棋 岐王戦 (R3.12.12.)

岐阜新聞創刊140年を記念して、今年から岐王戦が始まりました。子供たちの健全な心を育て、礼節を大事にする人に育つことを願っての大会です。関西や長野からの参加もありました。写真はこの大会を協賛していただいた岐阜信用金庫の光崎修常務理事、高田四段、優勝しました谷口君（京都府）二位の赤羽君、三位の加藤君です。



10. 将棋フェスティバル2021 (R3.12.19.)

将棋フェスティバルは、定期順位戦の成績上位者による年間のチャンピオンを決める大会です。成績上位者同士の対局ですから激戦続きでした。また、東和男八段をお招きしまして講演や多数の参加者相手に駒落ちの指導対局をしていただき、一人ひとりに丁寧な指導と適切なワンポイントアドバイスを頂きました。

